



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「現に今も恵みによって選ばれた者が残っています」

聖書(ローマ書11章5節)

牧師 河合裕志

昔、紀元前800年頃、イスラエルにエリヤという預言者がいた。その時代の王はアハブ、妃はイゼベル。彼らはバアルなる偶像神を国に導入。これにノーをとねえたのがエリヤ。王はエリヤ側の預言者達を殺害、残るはエリヤ一人に。

エリヤは荒野に逃げた。それは自らの死を願う程の苦しい逃避行。ようやく神の山ホレブに着く。そこにある洞穴にいた時に主(神)の言葉があり、洞穴の前に立てと。立つと非常に激しい風が起り山を裂き岩を砕いた。風の後には地震、地震の後には火が起った。「火の後に、静かにささやく声が聞こえた」。それは主の声。主はこういうことを告げた。「わたしはイスラエルに七千人を残す。これは皆、バアルにひざまずかず、これに口づけしなかった者である」(列王記上19章18節)。

主を信じる者は私一人だけになってしまった、なんと心細いことよ、と思っていたエリヤに、七千人を残すとの言葉は非常な勇気と希望を与えるもの。

この大変古い物語をパウロは引用して「同じように、現に今も恵みによって選ばれた者が残っています。もしそれが恵みによるとすれば行いにはよりません」とローマの信徒に書き送った。

選ばれた者、残されている者、それは誰のことを言っている? まずパウロ自身のことでは? 彼は当初アンチクリストの急先鋒、それが復活したイエスに出会って熱烈な伝道者に変身。今度は彼が迫害される立場に。こんな彼にエリヤの話は大きな励みになったことだろう。自分も主によって選ばれ残されたものだ。そして自分だけではない、七千人もの人々が残されているんだ。

今日キリスト者はそんな風に考えている。私は主によって主を礼拝する者として選ばれ残された者だと。自分の立派な行いによるのではなく主の一方的な選びによるんだと。主は心の貧しい者、力なきを覚えている者らを特別に愛し選ぶ。この世の選定基準とは大分違う。この世では実力のある者、能力のすぐれた者が何かと選ばれて行く。学校も会社もスポーツ界も。

しかし主の選びはそうではない。むしろ逆。その者の実力・能力によらない。その人の行いにはよらない、ただ主の恵みによる。主の選びはあなたにも向けられていることを知ってもらえたら幸い。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お折り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時